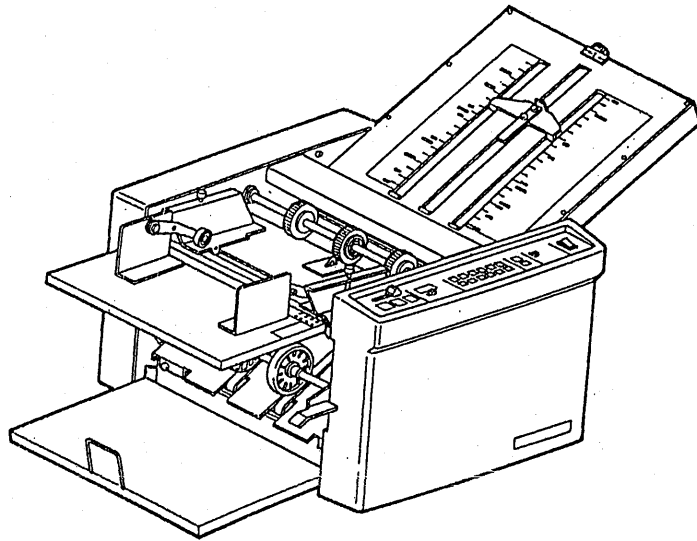


取扱説明書

全自動紙折機 F-40A



ご使用になる前に、この「取扱説明書」をよくお読みください。また、いつでもお読みになれるよう保管場所を決めて、大切に保管してください。

- ・ご使用前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ・ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。
- ・「安全上の注意」に使用されている絵表示の例。



△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は高温注意）が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



Ⓞ記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

安全上の注意

警 告	
	<p>1 アース接続してください。アース接続がされないで漏電した場合は火災、感電のおそれがあります。なお、アース接続ができない場合は、販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご相談ください。</p>
	<p>2 交流100V以外の電圧で使用しないでください。またタコ足配線をしないでください。火災、感電のおそれがあります。</p>
	<p>3 この機器の上に花瓶・植木鉢・コップや水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に水が入った場合、感電のおそれがあります。</p>
	<p>4 この機器のカバーは外さないでください。感電やけがのおそれがあります。</p>
	<p>5 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないで下さい。また重いものをのせたり、引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、火災感電のおそれがあります。</p>
	<p>6 この機器を改造しないでください。火災、感電のおそれがあります。</p>
	<p>7 発熱してたり、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。すぐに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。</p>
	<p>8 異物（金属片・水・液体）が機器の内部に入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店又は当社営業担当者までご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。</p>
	<p>9 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。</p>



注意



1 高温部に手を触れないでください。
やけどの原因になります。



2 ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。

3 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。
火災・感電の原因になります。



4 電源プラグを抜く時は、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っばると
コードが傷つき火災・感電の原因になります。



5 本機器を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
コードが傷つき火災・感電の原因になります。

6 連休等で長時間、本機を使用にならない時は安全のため必ず電源プラグをコンセントから
抜いてください。

はじめに

ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みください。

特に「△警告」（2ページ）「△注意」（3ページ）は必ずお読みの上、正しくお使いください。

この『取扱説明書』は、必要な時にいつでもお読みになれるように、保管場所を決めて、大切に保管してください。



この製品は改良のために、仕様を変更する場合があります。このため、同一製品においても、『取扱説明書』の記載内容が異なる場合がありますので、製品ごとの『取扱説明書』を混同して使用しないでください。

目次

安全上の注意	2
1. お使いになる前に	5
(1)使用方法・使用場所の注意	
(2)付属品の種類・数量確認	
(3)各部の名称とはたらき	
①各部の名称	
②操作部の名称とはたらき	
2. ご使用方法	7
1 準備	7
(1)テーブル1・2のセット	
(2)用紙のセット	
(3)排紙ローラーのセット	
(4)排紙ストッパーのセット	
2 操作方法	8
(1)紙折りのしかた	
(2)折り位置修正のしかた	
(3)特殊用紙サイズの場合	
(4)用紙サイズを変えた場合	
(5)紙詰まりの処理	
(6)機能変換の使い方	
(7)斜行調整の使い方	
(8)表示部が点滅している時の処理	
(9)途中でストップさせる場合	
(10)特殊な使い方（クロス折り）	
(11)用紙の長さや折り寸法について	
3. 機械のお手入れ	1 2
1 折りローラーの清掃	
2 消耗品について	
4. 故障の場合	1 2
5. 仕様	1 3
トラブルガイド	1 4
(1)トラブルの内容と対策	
(2)故障の場合	

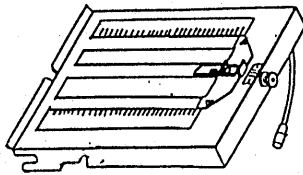
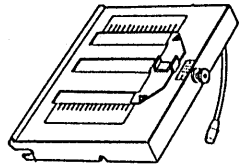
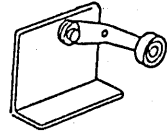
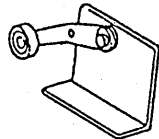
1. お使いになる前に

(1)使用方法・使用場所の注意

 注意	
	1 ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。 落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。
	2 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。 火災・感電の原因になります。

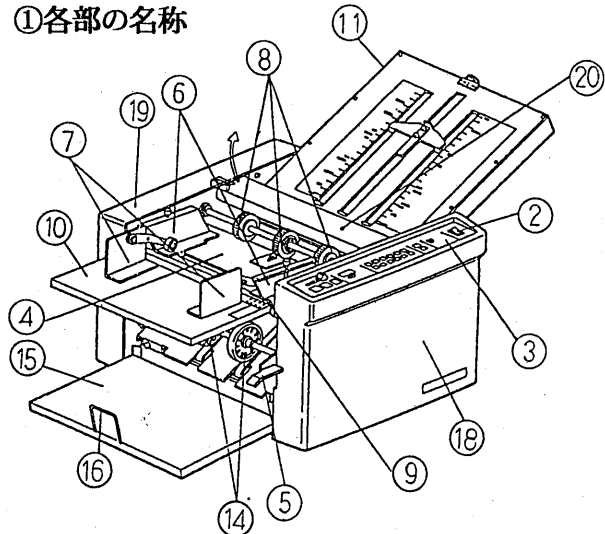
- ・直射日光の当たる場所に設置しないでください。
- ・窓際はなるべくお避けください。
- ・室温は摂氏5°～35°の範囲でご使用ください。
- ・風が直接当たる場所に設置しないでください。

(2)付属品の種類・数量確認

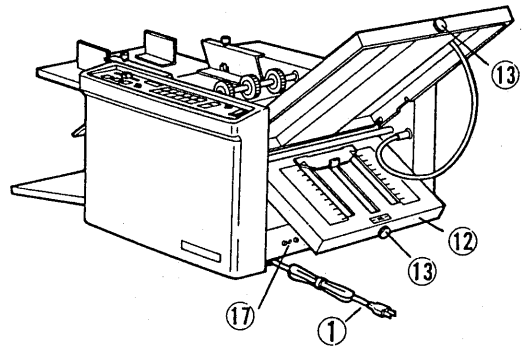
付 属 品	個数	☒
1. テーブル1	1	
2. テーブル2	1	
3. 補助用紙ガイドAss'y 左	1	
4. 補助用紙ガイドAss'y 右	1	
5. 機械カバー	1	_____
6. 取扱説明書	1	_____
7. 保証書	1	_____

(3)各部の名称とはたらき

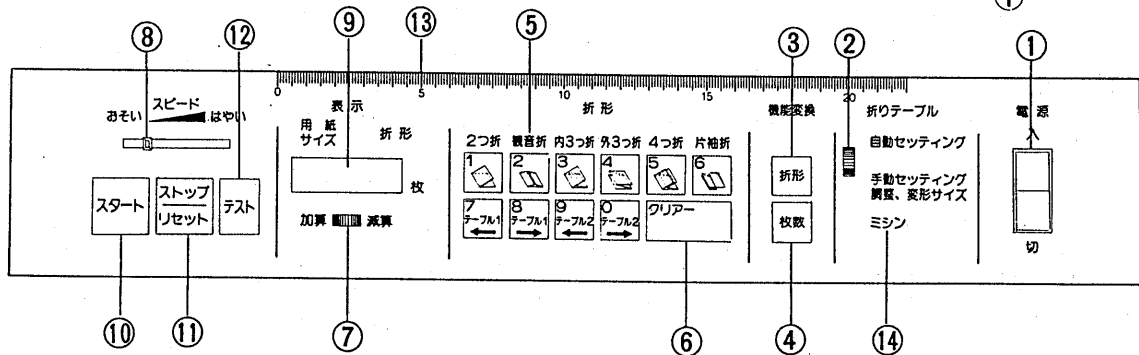
①各部の名称



番号	名 称	番号	名 称
1	電源コード	11	テーブル1
2	電源スイッチ	12	テーブル2
3	操作パネル	13	ストッパー微調整ツマミ
4	給紙テーブル	14	排紙ローラー
5	給紙テーブルレバー	15	排紙ストッパー
6	用紙ガイド	16	ブレーカー
7	補助用紙ガイド	17	右化粧カバー
8	給紙ローラー	18	左化粧カバー
9	斜行調整ツマミ	19	
10	補助テーブル		



②操作部の名称とはたらき



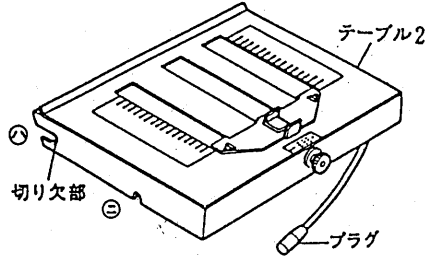
No.	名 称	はたらき	参照頁
1	電源スイッチ	電源を入れます。	8
2	折りテーブル切り換えスイッチ	テーブルの折り位置を設定する時に切り換えます。	8
3	折形キー	折形をセットする時に押します。	8
4	枚数キー	枚数をセットする時に押します。	8
5	数字キー	折形・減算を0にするときに押します。	8
6	クリアキー	カウンターの加算・減算時に切り換えます。	8
7	カウンター切り換えスイッチ	折り速度を変える時にスライドさせます。	10
8	スピードツマミ	折り速度を変える時にスライドさせます。	8
9	カウンター	折形キーを押すと用紙サイズの下に用紙サイズが表示され折形の下に折形番号が表示されます。また、枚数キーを押すと枚数表示になります。	8
10	スタートキー	紙折り開始の時に押します。	8
11	ストップ/リセットキー	折形キーを停止させる時に押します。カウンター点減時に押すと点減が泊まります。	8
12	テストキー	試し折りをする時に使用します	8
13	目盛	折り位置調整時に使用します。	9
14	ミシン (オプション)	ミシンテーブルを取り付けた時、ランプが点灯します。	13

2. ご使用方法

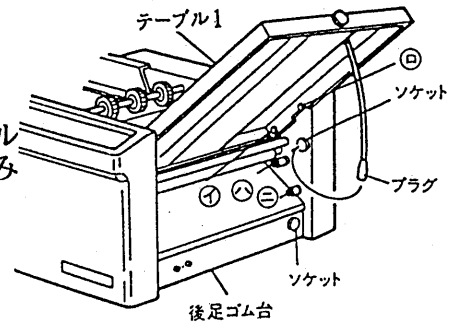
1 準備

(1) テーブル1・2のセット

- ① テーブル1（上段）のプラグを左サイド板のソケットに差し込み、テーブルの切り欠き部の前方をサイド板右・左にカシメられているピン①に差し込み、後端はピン②にはめ込みます。



- ② テーブル2（下段）のプラグを後足ゴム台のソケットに差し込み、テーブルの切り欠き部の前方をサイド板右・左にカシメられているピン①に差し込み、後端を下に押しながらかピン②にはめ込む様に取り付けます。



テーブルのプラグが正しく差し込まれないまま電源をいれますと"ピピー"という異常警告音と共に表示部は点滅し、折り位置が自動セット出来ません。その時は電源スイッチを「切」にしてプラグを完全に差し込んでから電源を入れ直してください。又、テーブルのセットが不完全ですと紙詰まりやシワ等の要因になり、トラブルが発生します。テーブルの取り付け、取り外しの時は十分に注意して取り扱ってください。

注意



- 1 テーブル1・2とも、ガタがなく①②③④のピンの位置に確実に収まっていることを確認してください。セットが不良ですと、紙折り不良や外れてけがの原因になります。

(2) 用紙のセット

- ① 排紙テーブルを開き、補助テーブルを持ち上げる様にしてセットします。
 ② 給紙テーブルレバーを上げます。
 ③ 用紙ガイドを使用する用紙の目盛に合わせます。
 ④ 給紙テーブルに印刷面を上にして用紙を積み、先端が下用紙ガイドに軽くあたる様になります。

※用紙は揃えて載せてください。

※片袖折りの場合は印刷面を下にしてください。

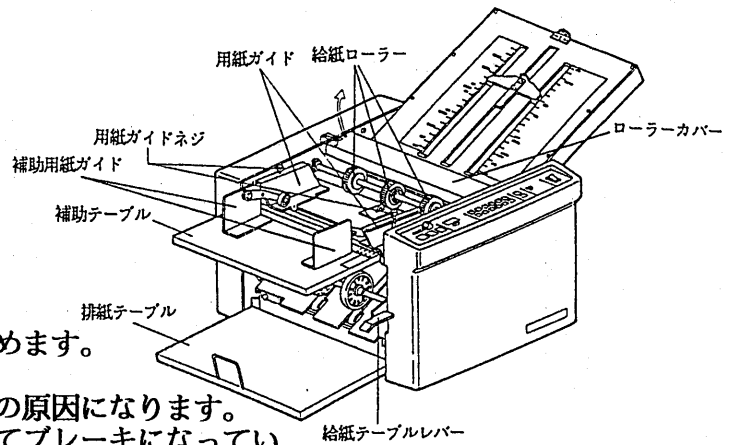
- ⑤ 用紙ガイドを用紙に密着させて用紙ガイドネジを締めます。

- ⑥ 給紙テーブルレバーを下げます。

※用紙先端が給紙ローラーに触れていないと給紙不良の原因になります。

触れていない場合は用紙先端と下用紙ガイドが接してブレーキになっている場合がありますので、その時は用紙を後にずらして再セットしてください。

- ⑦ 補助用紙ガイドは特殊な折り方（クロス折り）をする場合のみ使用してください。但し、用紙が曲がって給紙される様な場合は補助用紙ガイドを用紙の後端両サイドに接触する様にして補助テーブルの上に置きますと曲がらなくなります。



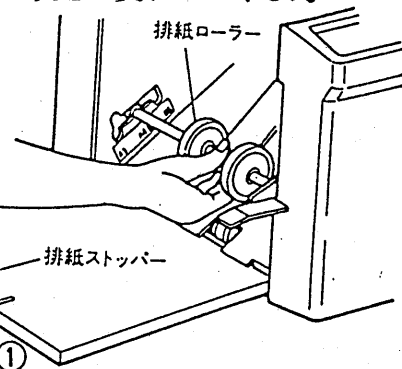
給紙テーブルが下がっている時、又は給紙テーブルに用紙がない場合は「スタート」及び「テスト」キーを押しても異常警告音が発生し給紙されません。

用紙サイズ自動検出が設けられています。用紙を正しくセットされない時、又は用紙がA3・A4・B4・B5以外の時、表示部に"EE"のエラー表示をします。この場合は自動セット出来ません。折形位置は手動セットとなりますので、9ページ「特殊用紙サイズの場合」を参照してください。

(3) 排紙ローラーのセット

①排紙ローラーを用紙のサイズに合わせてセットします。

※折形により折られた用紙の全長が変わって来たり、温・湿度により用紙のカール状態が変わってくる為排紙で紙詰まりが起きた場合、排紙ローラーを最適な位置に変えてください。



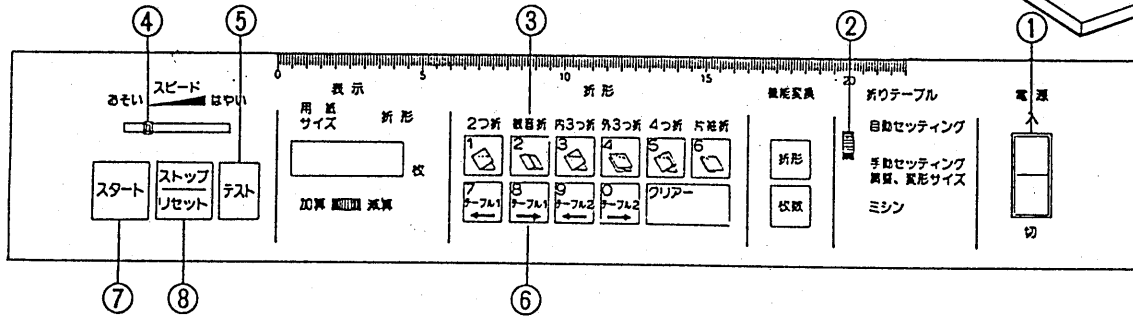
(4) 排紙ストッパーのセット

①排紙ストッパーを持って引き出します。

※排紙ストッパーの位置は用紙サイズに合わせて、排紙された用紙がスムーズに流れる様に設定してください。

2 操作方法

(1) 紙折りのしかた



①電源スイッチを「入」にします。

※1 テーブル1・2のストッパープレートが原位置に移動します。

※2 表示部は「用紙サイズ」と「折形」が点灯し、「用紙サイズ」は「A3」「A4」「b4」「b5」のセットされた用紙のサイズが「折形」には「0」が表示されます。

注意	
	1 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

②折りテーブル切換スイッチを「自動セッティング」にします。

③折形をセットします。任意の折形を選択し、数字キーを押します。

※表示部に選択した番号が表示され、テーブル1・2のストッパープレートが同時に移動を始めます。

※ストッパープレートが所定の位置に移動出来ない時、異常警告音と共に表示部が点滅し、運転出来ません。この場合、「表示部が点滅している時の処理」を参照してください。

④スピードを設定します。スピードツマミを任意の位置にスライドされます。折られた紙を確認します。

⑤試し折りをします。「テスト」キーを押します。2枚折られて排紙されます。折られた紙を確認します

※折り位置がづれている時は9ページ「折り位置修正のしかた」を参照してください。

注意	
	1 ローラーなど駆動部分には絶対に手を触れないでください。けがの原因になります。
	2 髪の毛・ネクタイ・ネックレス等をローラーなどの駆動部分にたらないでください。けがの原因になります。

⑥枚数をセットします。カウンター切り換えスイッチを任意に設定します。

※「枚」が点灯しています。

数字キーを押すとカウンターに数字がデジタル表示されますので任意の枚数をセットします。

※枚数を0にする時は「クリア」ボタンを押します。

※但し、加算の場合はセット不要となります。

⑦紙折りを開始します。「スタート」キーを押すと紙折りが始まります。

※給紙テーブルが下がっている時は、異常警告音を発生し、給紙されません。

※カウンターの数字が点滅している時は給紙されません。その時は10ページ「紙詰まりの処理」を参照してください。

※スピードにより折り位置が変化するためスピードは試し折りのままの状態でご使用ください。

⑧途中でストップさせる場合「ストップ/リセット」キーを押します。

⑨その他

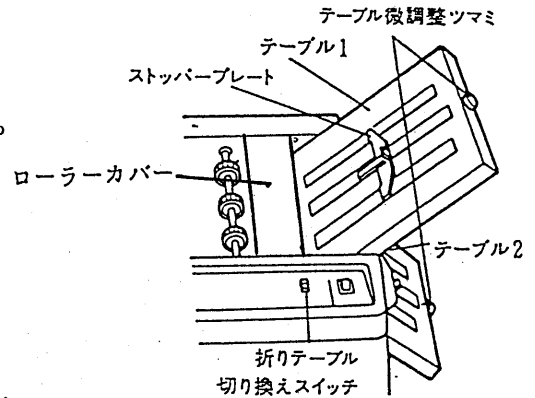
※特殊用紙サイズ及びクロス折りの時の折り位置設定は9ページ「特殊用紙サイズの場合」を参照してください。

※機械保護・安全の為、運転中異常が起きた場合、自動的にブレーカーが作動して電源をOFFにします
ブレーカーが作動したら異常箇所を確認してからブレーカーを押してください。


※横目の紙、湿気を帯びた紙、カールした紙等、若干紙折りが悪くなる事がありますが、その時はスピードを「おそい」にして使用してください。

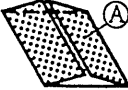


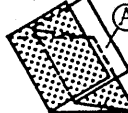



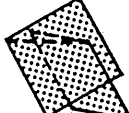
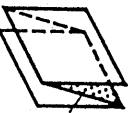
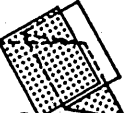

(2)折り位置修正のしかた

- ①折りテーブル切り換えスイッチを「手動セッティング」にします。
- ②試し折りしたら2枚目を排紙された状態のまま取り出し、テーブル1・2上の図形表示に合わせてテーブル微調整ツマミにて折り位置の修正します。



ツマミ回転方向指示表

 は用紙裏面を表わします。

	折り形	2つ折	観音折	内3つ折	外3つ折	4つ折	片袖折
テーブル1	紙折りの状態	なし					
	A面が長い場合	短	短	短	短	短	短
	A面が短い場合	長	長	長	長	長	長
テーブル2	紙折りの状態						
	B面が長い場合	短	短	短	短	短	短
	B面が短い場合	長	長	長	長	長	長





※1 2つ折りの場合は、全用紙サイズとも、テーブル2のみで折られます。

※2 修正寸法は「特殊用紙サイズの場合」の項の表を参照してください。

※3 「手動セッティング」にて折り位置修正はそのままの状態で行ってください。
(「自動セッティング」に切り換えると折り位置が元に戻ります。)

(3)特殊用紙サイズの場合

①折りテーブル切り換えスイッチを「手動セッティング」に切り換えてから下記の表を参考にして数字キー

, , ,  を押し、1・2ストッパープレートを任意の位置に設定してください。
(合わせる場合はテーブル1・2上の目盛を見ながら調整してください。)

(L=用紙の全長)

折り形	2つ折	観音折	内3つ折	外3つ折	4つ折	片袖折
テーブル1	原位置	L/4	L/3	2L/3	L/2	3L/4
テーブル2	L/2	2L/4	L/3	L/3	L/4	L/4

(4)用紙サイズを変えた場合

- 用紙サイズを変えて用紙ガイドを移動させても表示は直ぐには変わりません。
- 「折形」キーを押すと、「ピピー」というブザー音と共に用紙サイズは変更します。又は、折形の「数字キー」を押すと用紙サイズは変更します。

(5)紙詰まりの処理

- 給紙スリップ及び紙詰まりが発生した場合は「ピピー」という異常警告音と共に機械は停止し、表示部は点滅します。
- ①詰まった用紙を取り除いてください。
- ②「ストップ/リセット」キーを押します。(表示部が点滅している時、リセットキーとなります。)カウンターは点灯に変わります。
- ※用紙がローラーに巻き付いた場合等は、テーブル1・2を外して取り除いてください。
- ③「スタート」キーを押します。紙折りを始めます。

(6)機能変換の使い方

<1> 折り形セット

- ①「折形」キーを押します。「用紙サイズ」「折形」が点灯し、表示部の3・4桁目に用紙サイズが、1桁目に折り形番号が表示されます。
- ※ただし「用紙サイズ」「折形」が点灯している時は、「折形」キーを押す必要はありません。「折形」キーを押した場合「ピピー」というブザー音が鳴ります。
- ②任意の数字キーを押します。カウンターの1桁目に数字が表示されテーブル1・2のストッパープレートが移動を始めます。

<2> 枚数セット

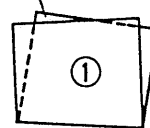
- ①「枚数」キーを押します。「枚」が点灯し、表示部はカウンター表示になります。
- ※但し「枚」が点灯している時は「枚数」キーを押す必要はありません。「枚数」キーを押した場合、「ピピー」というブザー音が鳴ります。
- ②任意の数字キーを押します。カウンターに数字が表示されます。
- ※加算の場合は折られた枚数を表示します。
- ③枚数0にする時は「クリア」キーを押します。

(7)斜行調整の使い方

- 用紙裁断時の曲がり、その他の原因で折り合わせが曲がっている場合は、曲がりを補正する斜行調整ツマミで曲がりを修正することができます。

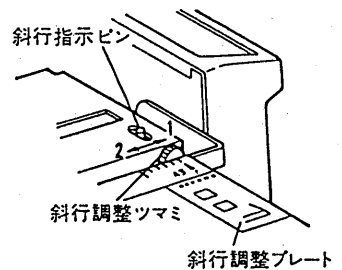
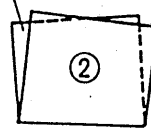
- ①テーブル1又は2で折られた面が右へ曲がった場合は斜行調整ツマミを右方向に1廻してください。

テーブル2で折られた面(下面)



- ②テーブル1又は2で折られた面が左へ曲がった場合は斜行調整ツマミを左方向に2廻してください。

テーブル2で折られた面(下面)



- ※1 2つ折りの場合はテーブル2で折られた面を下にし、その他の折りは全てテーブル1で折られた面を下にし、(但し、テーブル1以外で折られた箇所は伸ばす様にして図を参照にするとわかり易い)図を参照に給紙テーブルの調整を行ってください。(折られた面は9ページ「折り位置修正のしかた」の表を参照してください。)

- ※2 斜行調整使用後は、必ず元の位置にしてください。(斜行指示ピンが給紙テーブル長孔の中央にあたる様にしてください。)

(8)表示部が点滅している時の処理

- ①電源スイッチを入れると点滅した場合（電源スイッチをOFFにしてから次の操作をしてください）
- テーブル1・テーブル2のコネクターが外れているか、テーブル内に紙等の異物があり、ストッパープレートが移動出来ない時、表示します。電源スイッチを「切」にし、コネクターのセットを確実に差し込むか、テーブルを外し、テーブル内の異物を取り除き再セットしてから再び電源スイッチを「入」にしてください。
 - テーブル1・2のストッパープレートをテーブル微調整ツマミで「長」方向にストッパープレートの矢印が6cmになるまで移動させてから再度、電源を「ON」にしてください。それでも点滅が消えない時は、販売店又は当社営業担当者までご連絡ください。

②給紙途中で点滅した場合

- 給紙スリップ及び紙詰まりが発生しているため原因を調べて安全を確認してから、「ストップ・リセット」キーを押してください。その他、詳しい内容については10ページ「紙詰まりの処理」を参照してください。

(9)途中でストップさせる場合

- 「ストップ・リセット」キーを押します。

(10)特殊な折り方（クロス折り）

〈例〉2つ折りした用紙をさらに4つ折りする様な場合

- ①最初に折った用紙を給紙テーブルに載せた用紙ガイド左右を用紙に密着させて固定します。





- ②左右の給紙ローラーのネジをプラスドライバーで緩めて用紙の両端を押さえる位置にセットします。

- ③補助用紙ガイド左右を右図の様に置き、先端のベアリングが用紙のふくらみを押さえる様に置きます。

- ④給紙テーブルを上げます。

※1枚目の用紙先端が給紙ローラーの触れる様にセットしてください。

- ⑤折りテーブルの切り換えスイッチを「手動セッティング」にします。
※手動セッティングはそのままにしておいてください。

- ⑥「数字」キー , , , , を押して
テーブル1・2の任意の位置に設定します。

- ⑦「テスト」キーを押して折り位置を確認します。
※微調整は微調整ツマミにて、折り位置を修正します。

- ⑧カウンター（加減算）をセットしてから「スタート」キーを押して開始します。

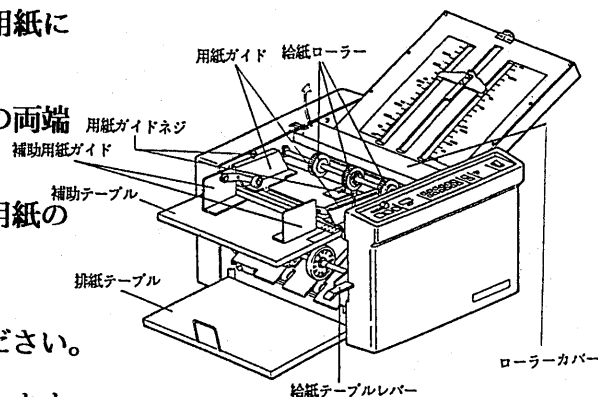
※1 最初の折りは折り重ねの少ない折形で折ってください。

〈例〉2つ折りと4つ折りの場合

1度目に2つ折りをしてから2度目に4つ折りをすると、綺麗に折れます。

※2 用紙の折り目は手でもう一度シゴいてください。

※3 用紙はよく揃えて給紙テーブルにセットしてください。



(1)用紙の長さ と 折り寸法について

- 紙折りできる用紙の最大巾は302mmです。
- 表の中の数字は各種折り方の最大と最小の折り寸法です。

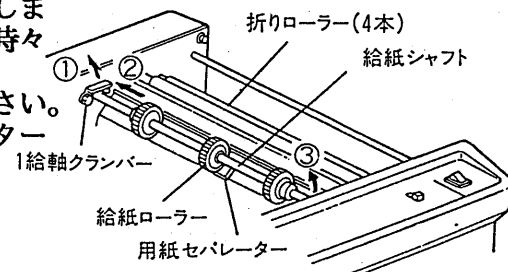
(単位 mm)

		2つ折	観音折	内3つ折	外3つ折	4つ折	片袖折
最大に 折れる寸法	テーブル1	—	108	217	320	320	320
	テーブル2	217	217	217	160	160	106
その時の用紙の全長		434	434	651	480	640	426
最小に 折れる寸法	テーブル1	—	48	48	86	86	129
	テーブル2	43	96	48	43	43	43
その時の用紙の全長		86	192	144	129	172	172

3. 機械のお手入れ

1 折りローラーの清掃

- 清掃をする時には必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 折りローラーに紙粉やホコリ等が溜まると紙折に、支障をきたすことがありますので、使用しない時はカバーを掛けて置いてください。
- 折りローラーに紙粉及び印刷物のインキが付着しますとシワ、紙折れ等、トラブルの原因になりますので次の要領で清掃してください。
 - テーブル1・2を取り外します。
 - クリーニングキットで折りローラーの表面を拭き汚れを取り除きます。
- 紙粉及び印刷物のインキ等が給紙ローラーや用紙セパレーターに付着すると給紙性能が低下し、紙詰まりやスリップが起こり易くなるので、時々清掃してください。
 - 給紙ローラーの表面をクリーニングキットで汚れを取り除いてください。
 - 右図番号順に動作して給紙シャフトは手前にづらして用紙セパレーターの清掃をしてください。
- 外装部の汚れ ——— アルコール又は清掃用クリーナーをご使用ください。溶剤系の洗浄液の使用は変色の原因になることがありますので、お避けください。
- クリーニングキット (別売) 型番141-0070
 - ローラー洗浄器具 (フェルト付) と洗浄液 (スポイト付) がセットになっています。
 - 給紙ローラー・用紙セパレーター・折りローラーの専用の清掃液キットです。ご使用いただきますと、清掃がスピーディーで手を汚す事なく簡単に汚れを落とせます。そしていつまでも、正確な紙送りと紙折り維持できます。



2 消耗品について

- ①製品に使用されている給紙ローラー・ブレイキゴム・用紙セパレーターは消耗品です。
- ②折りローラーについては、6ヶ月の限定保証とさせていただきます。

4. 故障の場合

- 修理が必要な場合は、販売店又は当社営業担当者および、お客様相談センターまでご連絡ください。

■お客様相談センター

フリーダイヤル ☎ 0120-077-266

5. 仕 様

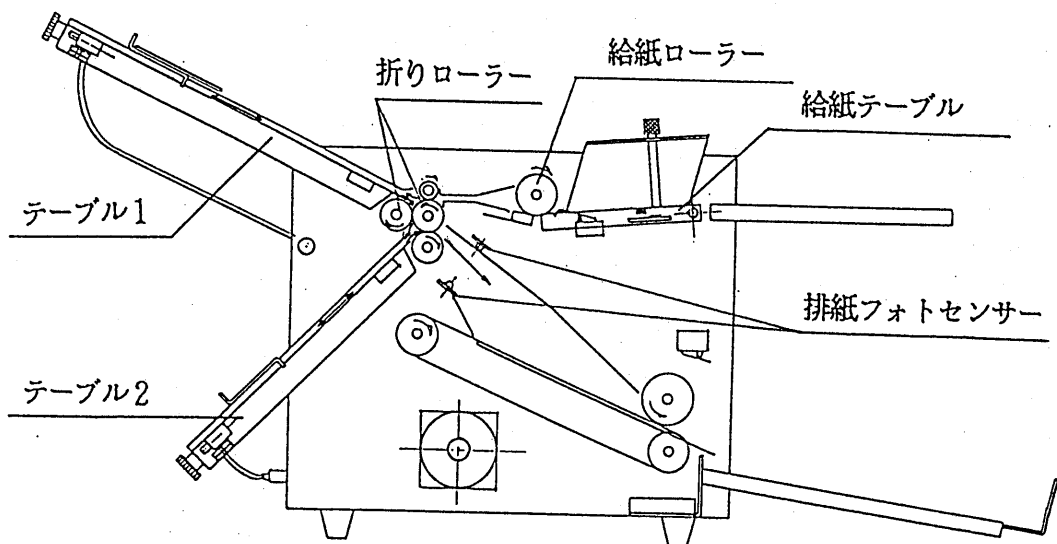
形 式	F-40A
用紙寸法	B7判(91×128mm)～A3判(297×420mm)
用紙重量	40～90kg(更紙・上質紙・上質孔版紙・中質紙)
折 型	2つ折・観音折・内3つ折り・4つ折・片袖折・その他変形折・2回折りによるクロス折
折り寸法	最大折り寸法 320mm(7-M1で折れる最大折り寸法) 外3つ・4つ・片袖折時 217mm(7-M2で折れる最大折り寸法) 2つ・観音・内3つ折時
	最小折り寸法 48mm(7-M1で折れる最小折り寸法) 観音・内3つ折時 48mm(7-M2で折れる最小折り寸法) 2つ・外3つ・4つ・片袖折時
給紙方式	3輪紙サバキ方式
給紙積載量	500枚(上質紙55kg)
処理速度	2800～7200枚/時(B4判 2つ折時)
操作方式	マイコン搭載によるデジタルテンキー自動設定方式
付加機能	<ul style="list-style-type: none"> ★斜行調整・紙詰まり検出・4桁加算・減算切り換えスイッチ付デジタルカウンター ★誤動作・誤操作・終了時電子音で自動停止 ★用紙サイズ(A3・B4・A4・B5)自動読み取り機能 ★クロス折り用補助用紙ガイド付 ★オプションとしてミシン目取り付け可能
消費電力	80W
使用電源	100V 50/60Hz
機械寸法	835(W)×515(D)×480(H) (使用時)
	620(W)×515(D)×480(H) (収納時)
機械重量	27kg
オプション	ミシンテーブルAss'y (ミシン目カッター2mm・4mmの2種類有) 重量4.3kg 投票用紙用ギヤーAss'y

※本機の仕様及び外観は改良のため、予告なく変更されることがありますのでご了承ください。

トラブルガイド

(1) トラブルの内容と対策

現象	推定原因	対策
電源を「ON」にして操作パネルに表しない	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグが抜けている ブレーカーが働いている 	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグを差し込んでください。 ブレーカーをリセットしてください。
電源を「ON」にした時、「点滅表示」になる	<ul style="list-style-type: none"> 用紙が規格寸法でない <p>A 3 ——— 297mm巾 A 4 ——— 210mm巾 B 4 ——— 257mm巾 B 5 ——— 182mm巾</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「手動セッティング」に切り換えてください。
電源を「ON」にした時、「点滅表示」になる (B 4 用紙を使用)	<ul style="list-style-type: none"> 1、2テーブルストッパーの働きが悪い 	<ul style="list-style-type: none"> 電源を「OFF」にしてテーブル1、2微調整ツマミを「長」方向に廻してストッパープレートの矢印が目盛の6又は7の所まで移動させてから再び電源を「ON」にしてください。 それでも動かない時は、販売店又は当社営業担当者及びお客様相談センターまでご連絡ください。
「スタート/ストップ」キーを押しても機械は動くが紙を送らない	<ul style="list-style-type: none"> 用紙セットの不良 用紙のストップ 	<ul style="list-style-type: none"> 用紙を確実にセットしてください。
折りローラーは廻るが給紙ローラーが廻らない	<ul style="list-style-type: none"> 排紙部に紙がつまっている 	<ul style="list-style-type: none"> つまった用紙を取り除いてください。 (折りローラーから出た直後に紙がつまっていることが多い) ※テーブル1・2を取り出すと用紙が取り出し易くなります。
用紙を1枚しか排紙しない	<ul style="list-style-type: none"> 排紙センサーの汚れ 	<ul style="list-style-type: none"> 排紙センサーを清掃する。



現象	推定原因	対策
紙詰まり・重ね送り・空送りが多発する	<ul style="list-style-type: none"> 給紙ローラーが汚れている 用紙セパレーターが汚れている 折りローラーが汚れている 用紙がカールしている 給紙ローラーの磨耗 用紙セパレーターの磨耗 	<ul style="list-style-type: none"> 給紙ローラーの汚れを落としてください。 セパレーターの汚れを落としてください。 折りローラーの汚れを落としてください。 用紙のカールの矯正してから給紙テーブルにセットし直してください。 給紙ローラーを交換してください。(販売店へご連絡してください) 用紙セパレーターを交換してください(販売店へご連絡してください)
用紙が汚れる シワが発生する 折りローラー部分で異常音がする	<ul style="list-style-type: none"> 給紙ローラー セパレーターの汚れ 折りローラーの汚れ 折りローラーの汚れ 	<ul style="list-style-type: none"> 各ローラー・セパレーター・折りローラーの汚れを落としてください。 折りローラーの汚れを落としてください。(専用クリーナーで清掃してください)

(2)故障の場合

※修理が必要な場合は、販売店又は当社営業担当者及び、お客様相談センターまでご連絡ください。

■お客様相談センター

フリーダイヤル ☎ 0120-077-266

取扱説明書

この「取扱説明書」はいつでもお読みになれるよう保管場所を決めて、大切に保管してください。

また、この「取扱説明書」を汚されたり、紛失された場合は、販売店か当社営業担当者、又はお客様相談センターまでご連絡して、内容を確認のうえ請求してください。

この製品を譲渡される場合は、次の所有者にこの説明書を必ず添付して譲渡してください。

●故障の場合

修理が必要な故障の場合は、販売店または当社営業担当者及び以下のウチダテクノまでご連絡ください。

■株式会社ウチダテクノ

部門・部署名	〒	所在地	TEL	FAX
東京	104-0033	東京都中央区新川1-10-14 ニューリバービル 2F	(03)5657-4071	(03)5657-4081
大阪	540-8520	大阪府大阪市中央区和泉町2-2-2 ㈱内田洋行内 3F	(06)6920-2446	(06)6920-2498
札幌	060-0041	北海道札幌市中央区北1条東4-1-1 サッポロファクトリー ㈱内田洋行内 1F	(011)241-2825	(011)241-2827
福岡	812-0008	福岡県福岡市博多区東光2-10-11	(092)476-5011	(092)476-5009
名古屋	460-0002	愛知県名古屋市中区丸の内2-4-20	(052)220-5270	(052)222-7640

●商品に関するお問い合わせ先

お客様相談センター フリーダイヤル 0120-077-266

●クリーナー

注文番号: 1-141-0074 ゴムローラー専用クリーナー